

■児童・生徒の学力の状況

○「全国学力・学習状況調査」の結果から、数学では、図形の根拠を書く、累積度数を求める、箱ひげ図から読み取る、国語では言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱いに関する事項の問題、英語では英文を書く問題の平均正答率が低い。

○「生徒質問」の結果から、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについては、肯定的な回答が多い。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

○ICT機器の活用を学力向上につなげられるように、活用の仕方を工夫をする。

○生徒が主体的にめあてを達成するために、学習過程の見通しをもたせ、学習計画を立てさせることが必要である。

○対話を通して互いを高め合い、深い学びにつなげるために、生徒一人ひとりの考えを友達同士で交流する場面を増やす必要がある。

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

○「板橋区 授業スタンダード」及び「板橋区 授業スタンダードS」に基づいた指導を展開し、主体的・対話的で深い学びを実現する授業を展開し、学習に対する自己調整力を身に付け、基礎・基本の確実な定着を図る。

○生徒が知識・技能を習得し、習得した知識を活用して考える力、表現し伝える力を育むために、問題解決型・探究型の学習活動を重視し、生徒が主体的に学習に取り組めるよう授業改善を進める。

○数学において少人数習熟度別授業を行って、個に応じたきめ細やかな指導に努める。

○一人一台端末、電子黒板、実物投影機などのICT機器や、学校図書館などを活用し、必要な情報を生徒自身が自己選択、自己決定し、自分の考えを発表できる場を設ける。

○一人一台端末の活用や授業方法の工夫について、校内研修や研究授業を実施し、積極的な活用を図る。

■確かな学力の育成に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
板橋区授業スタンダードの徹底、及び板橋区授業スタンダードSの取組	ICT環境の適切な維持と活用 個別最適な学び・協働的な学びの実現	総合的な学習の時間との連携
「板橋区授業スタンダード」や「板橋区授業スタンダードS」に基づいた指導を展開し、「ねらい」「流れ」を明確にするとともに必ず「振り返り」の活動を行う。	一人一台端末を活用し、主体的・対話的で深い学びの視点での授業革新を実施し、INPUT・THINK・OUTPUTを意識した授業を進める。	教科横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、解決する力等を身に付けさせる。

■MIRAI SCHOOL いたばし-教育ビジョン2035- -アクションプラン2028-の実現に向けた具体的な取組

保幼小接続・小中一貫教育の推進	豊かな心と健やかな体の育成	多様な教育的ニーズへの対応
○学びのエリアで9年間を通じた教育の実現を図り、中1ギャップを解消させ、学力向上を図る。 ○学びのエリアの小学校3校と相互に授業参観や定期的な情報交換を行い、各教科指導の指導内容の一貫性をめざす。 ○総合的な学習の時間において、小中学校の系統立てた探究的な学びを展開する。	○地域の行事に積極的に参加し、地域の後継者としての自覚と郷土愛を深める。 ○薬物乱用防止教室やSNS等に関する内容をセーフティ教室等で取り上げ、生徒の健康・安全についての意識を高める。 ○生徒会活動を中心とした「いじめ撲滅運動」を積極的に支援する。 ○運動会やいじめに関する道徳の授業を縦割りで行い、年齢を超えて他と協調し、相手を大切に思いやりの心や、感動する心を育む。	○板橋区コミュニティ・スクールの充実を図り、地域とともにある学校を実現させる。 ○特別支援学級との交流及び共同学習を計画的、組織的に行い、他を尊重し相手を思いやる心を育てる。 ○英語などの外国語による実践的なコミュニケーションに力を入れ、伝え合う力を育てる。